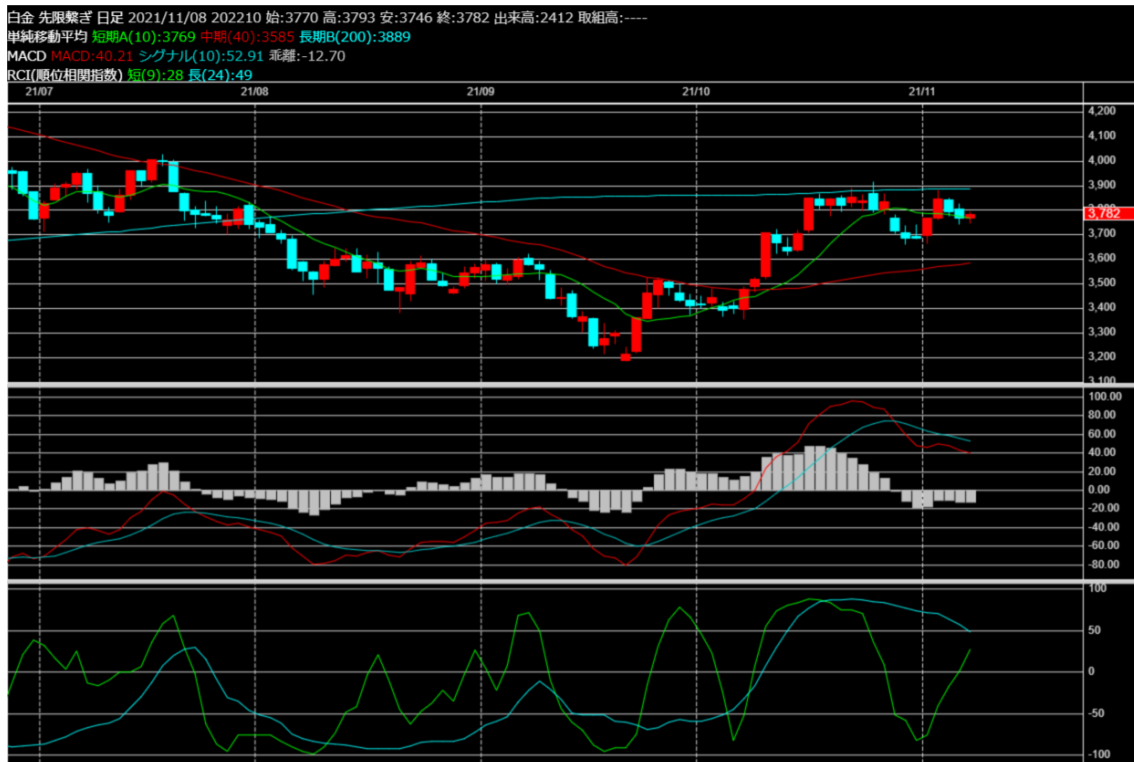


＜白金標準先物、MACD のクロス待ちの押し目買い方針・・・＞



(出所：オアシス)

先週の金融政策で早期の利上げ観測が後退し、金標準先物が10月の高値を試す中で白金標準先物は、10月の同時期の高値3917円から乖離した状態である。特に白金は中国要因である恒大集団や佳兆業集団のドル建て社債の利払い問題で、佳兆業集団の4日の理財商品の利払いが実施できず、資産売却に伴い香港市場で売買取引停止の処置が実施されている。そのため9月、10月の恒大集団と同様にデフォルト・リスクが高まりを見せ、自動車排ガス規制の強化や宝飾需要が期待できる中国市場の問題が白金標準先物の戻りを抑える要因となっている。ただ恒大集団と同様に不動産業界のデフォルト・リスクが高まりを見せて、白金標準先物が売られた場合は買い場の提供となる値動きが続いている。特に今週は10日には中国不動産会社恒大集団の利払い、11日、12日には佳兆業集団のクーポンの利払いが期日であり、今週の山場を超える事が出来ると売り要因が後退し、年末に向けて3700円台から4000円台へと買い戻しの値動きを強めて来ると予想される。

＜テクニカル＞

白金標準先物の週足をMACDとRCIで見た場合は、MACDはMACDとシグナルが下げており、RCIでは短期の上昇に対して長期が切り下げ続けている。そのためMACDがシグナルを上回るクロスやRCIの短期が長期を上回るクロス待ちの状態である。

＜データー＞

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：505097（前週比-16656）

世界プラチナETF残高（トン）：72.24（前週比+0.06）

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 435,500 円（2021 年 11 月 8 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復 31,460 円（2021 年 11 月 8 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-3249-8827（受付時間：平日 8:30～17:30）証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター <https://www.nisshokyo.or.jp>